

「古墳視を楽しむ」

皆の広場：素人の古墳考①～⑤

(出典) 古墳手帳 二見書房 広瀬和雄著 他ネット
古墳入門 講談社 鈴木武彦著
古墳 宝島社 瀧音能之著

- * [1] はじめに
- * [2] 古墳入門
- * [3] 古墳の歴史
- * [4] トピックス

R 6. 1 2. 1 3

自文科 永野 徹



「古墳視を楽しむ」

[1] はじめに

皆の広場 素人の古墳考①「はじめに」

＜古代の墳墓観＞

- (1) 世界の墳墓文明
- (2) 日本墳墓
- (3) 古代日本
- (4) 古代のお墓
- (3) 古代の時代区分

2025.5.5 自文科 永野 徹

(1) 世界文明

① 世界の墳墓文明

(注意) 下記地点には更に古い文明が存在している。

1. 日本(古墳): 古墳時代(3c～7c)
- * 2. エジプト(ピラミッド): エジプト文明(BC3000～BC30)
- * 3. 中南米(ピラミッド): アンデス文明(BC2000～AD1500)
- * 4. メキシコ(ピラミッド): マヤ文明、アステカ、テオティワカン
- * 5. 中国(新石器時代): 黄河文明(BC3000～)
- * 6. インド(ハラッパ): インダス文明(BC2600～BC1800)
7. 中東(メソポタミア): シュメール文化(BC5500～BC1700)
8. 遊牧民(積石墓): スキタイ文化(BC700～、金属埋葬文化)

② アジアの墳墓伝搬

1. スキタイ 西アジア: BC8世紀～王家の墳墓(クルガン、Φ=25m、高さ30cm)、木棺、クルガン(BC3世紀: ハシリク墳墓)

- * 副葬品(青銅鏡、ペンダント、黄金イヤリング、鍬鏃)
- * 2. 遊牧民 墓文化伝搬(カスピ海～カラクム～モンゴル～中国)
- * 3. 中国(新疆)シルクロード楼蘭(中国)タリム盆地カラマハン沙漠、BC2～3C
- * 4. 中国(殷) 夏～殷、BC17、大型墓地(2万㎡)
- * 埋葬品(金のマスク、トルコ石、青銅器、玉器、)
- * 5. 中国(秦) 秦始皇帝兵馬陵(中国墓: 陵園の墳墓・祖先崇拝)
- * 6. 中国(漢) 馬王堆漢墓 BC186年、墳墓(高さ20M、L40M)、
- * 地下木棺・ミイラ、(祖先崇拝と墓地庭園)
- * 埋葬品(玉印・工芸品・漆器・)
- * 7. 韓国 高句麗: 中国式の陵園の中に墳墓(方墳)
- * 百濟: 葦石封土墳、大型積石塚、木棺木槨墓(円墳)
- * 新羅: 積石木槨墓
- * 伽耶: 大型木槨墓、円形墳土墓、竪穴式石槨墳
- * 8. 日本 古墳時代(前方後円墳、前方後方墳、方墳、円墳他)

③東アジアの古代墳墓考

森下章司(大手前大学)

第34話:墓制から見た東アジア・朝鮮半島・倭国

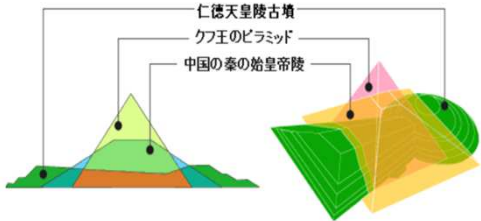
朝鮮半島の諸地域における墳墓の形式は、本格的な朝鮮三国時代に突入した段階で、それぞれ異なる墓葬制を確立し、あたかも各地域勢力のアイデンティティであるかのようにそれを維持した。高句麗では鴨緑江流域の大型横石塚、百済では漢江流域の葦石封土墳や大型横石塚と木棺木槨墓、新羅では慶州盆地の横石木槨墳、加耶諸国では副葬を持つ大型木槨墓や円形封土墳と竪穴式石槨墳、そして梁山江流域の甕棺墳墓といった具合でそれぞれに特徴がある。

④東アジアの古代墓制 (中国・韓国・日本)

国	時代	国名	年代	目的	形状目的	副葬品	埋葬と築造	特徴
中国	漢代	漢	2 C 末	祖先崇拝	先祖崇拝 陵園	鉄器・銅鏡	埋葬地下 埋葬前完成	陵園 先祖崇拝
		高句麗	3C~4C 方墳	大型横石 中国思想 墓石・陪塚	中国と同じ 祭壇・建物	鉄器・銅鏡	埋葬地下 埋葬前完成	陵園 先祖崇拝
韓国	三国時代	百済	4~5 C 方墳葦石	大型石塚 葦石・封土墳	祭祀施設 方墳	葦石有り 鉄器・同剣	埋葬地下 埋葬前完成	高く急傾斜 登れない
		新羅	4~5 C 4~5 C	葦石・封土墳 円墳	〃	鉄矛 青銅器	埋葬地下 埋葬前完成	高く急傾斜 登れない
		伽耶	4~5 C 4~5 C	大型木槨墓 円墳・壘穴	〃		埋葬地下 埋葬前完成	高く急傾斜 登れない
日本	古墳時代	大和	3 C ~ 7 C	前方後円墳 墳丘巨大	権威象徵 特殊形状 登る墳墓	銅鏡・刀 勾玉・腕飾り	埋葬上部 埋葬後完成	低い 昇れる

⑤世界三大墳墓の比較

墳墓名	全長	高さ	積体
仁徳天皇陵	486m	35.8m	140 万 m ³
クフ王のピラミッド	230m	146m	260 万 m ³
秦の始皇帝陵	350m	76m	300 万 m ³



(2) 日本の墳墓

- * 1) 古代の墓とは
 - * ①古代の死生観
 - * ②古墳時代以前 (1.縄文時代・2.弥生時代)
- * 2) 日本の古代 (年代・特徴)
 - * ①縄文時代
 - * ②弥生時代
 - * ③古墳時代
- * 3) 古墳の形状と規模

1) 古代の墓とは

① 古代の死生観(私見)

- * 1. 死者への尊厳
 - * ・この世(現生)とあの世(彼岸思想)
 - * ・靈魂不滅思想
 - * ・権力者崇拜(大きな墳丘墓、古墳等、埋葬品)
- * 2. 彼岸の生活場
 - * ・靈魂の生活空間確保
 - * ・あの世での幸せを祈る
- * 3. 復活を願う境地
 - * ・土に還る
 - * ・死者の復活を考える

② 古墳時代以前(縄文～弥生)

1. (縄文時代～) 古代共同社会 土葬・土墳墓

- * ○日常生活は全員の共同生活でお墓も集合墓地。
- * (土に還る埋葬が中心で鳥葬などもあった)
- * ・身分差は無く自由平等の共同生活時代。(方形周溝墓)
- * ・シャーマニズム的な要素が強かった(自然に還る、復活)

2. (弥生時代以降) 階級社会登場で墳丘墓誕生

- * ○豪族・富裕層の誕生で財力による埋葬に差異が生じ 権力を象徴する大規模なお墓が誕生。
- * ・支配者の墓として墳丘墓が造られた。(方形墳墓)
- * ・各地大豪族の誕生以降の墳丘墓である古墳誕生
- * ・ため池・水田開発等で支配者に感謝し大規模墳を築造。
- * ・富裕者が貧民層を古墳造りに従事させて救済

2) 日本の古代概要(縄文～古墳)

- * (新石器時代～古墳時代)
- * ① 縄文時代(青森)
- * ② 弥生時代(西日本)
- * ③ 古墳時代(全国約16万基)
- * (前方後円墳約500基)

① 縄文時代(青森の場合)

- * 1. 縄文前期(円筒下層式土器)≒6000年前～
- * 2. 縄文中期(円筒上層式土器)≒5000年前～
- * 3. 縄文後期(十腰内式土器)≒4000年前～
- * 4. 縄文晩期(亀ヶ岡式土器)≒3000年前～

②弥生時代(本州:BC300~AD250)

- * 遺跡: 環濠集落、小部族国家誕生
- * 気候: 海面退化(小氷河期▼2~3M)
- * 土器: 貯蔵用壺、炊飯用甕、刷毛目、叩き目、スタンプ模様
- * 文化: 青銅器・鉄器文化(農機具等)
- * 農耕: 水田耕作(稲作が本格的に普及)
- * 墳墓: 高塚式墳墓が出現(弥生後期)
- * 特記: 後漢書(叙国王57年)・・・金印紫綬を授与された
魏志倭人伝(239)・・・邪馬台国卑弥呼が魏へ朝貢



3. 墓文化

①南九州の4大墓様式

- ①地下式板石積石室墓様式;
 - ・地下2m程度に凹形・方形の石室が造られ、持送り式に板石で覆われ中央部が亀甲土に高い天井。
 - ・南九州西部・川内川中上流に分布
- ②地下式横穴墓様式;
 - ・地表から1.5m位竪穴を掘り下げ、横に水平に掘り広げる。
 - ・南九州南東部に分布
- ③土壇墓様式:一般の墓(土葬)
- ④高塚墓様式:
 - (西部原古墳群、生目古墳)
 - ・4C~7Cに築造されヤマト政権と同じ高塚式古墳が300基以上あり、男狭穂・女狭穂など巨大古墳がある。



③古墳時代(近畿:3C~8C)

	前期	中期	後期	終末期
時期	3Cから4C末	4C末~5C半	5C末~7C初	7C~8C初
王朝	三輪王朝	河内王朝	飛鳥時代	飛鳥・浄御原
形式	前方後円墳(ヘチ型、新羅型)	前方後円墳(前方大)	前方(高・広)後円・方墳	八角・円墳
分布	畿石・方形 近畿中央部	墳丘長500M超が出現 近畿各地	巨石・横穴式古墳 6C末前方後円墳減少	畿内系方墳 近畿王墓
特徴	大規模化 斜面葺石	巨大古墳・造出し 斜面葺石、二段横成	巨大~薄墓 斜面葺石	円墳・八角形
内部	竪穴式・粘土器 木棺・石棺	竪穴・木棺・石棺	横穴式	横穴式
副葬品	銅鏡・玉・陶器 鉄器・農機具・須恵器 呪術的	刀剣・甲冑・武器・馬具 装飾品 軍事的	武器・馬具・飲食土器 土器・須恵器 生活用具	壁画のあるもの 628推古天皇 646大化改新
墳輪	円筒墳輪	形象墳輪	円筒・軽便墳輪	
古墳名	西陵塚古墳 ホケノヤマ古墳 等々古墳 黒塚古墳 ノミ山古墳 桜井茶臼山古墳	女狭穂塚古墳(西部) 大仙古墳 春日御前山古墳 五色塚古墳 造山古墳 上石津ミサンザイ古墳	河内大塚山古墳 見瀬丸山古墳 今城塚古墳 石舞台古墳 藤ノ木古墳	用明・推古 斉明・野口王墓

3)古墳の形状と規模

- * ① 古墳の形状
- * ② 10大古墳
- * 1. (日本の古墳)
- * ・可視的な政治システム
- * ・共通意識と階層性
- * 2. 前方後円墳: 約5,200基

①古墳の形状

墳形名称	平面デザイン	立体デザイン	説明	主要古墳
前方後円墳 ぜんぽうこうえんふん			古墳時代を象徴する墳形。死者を葬る部分を円形につくり、その前方部に方形の突起出しを形成。近畿を中心に各地に広がる。	大仙(宮)古墳 箸墓古墳 五色塚古墳
前方後方墳 ぜんぽうこうほうふん			前方後円墳の後円部を方形にしたもの。比較的前期に多く東海地方に顕著に見られる。	西山古墳 太安塚(早稲) 山代二子塚古墳
円墳 えんふん			古墳時代を通じて、日本全国に分布。後期には、群集墳を形成。	お墓山古墳 八幡山古墳
方墳 ほうふん			円墳や前方後円墳よりも後の7世紀に現れる。	山田葛松古墳(雄古) 春日山古墳(用命塚)
上円下方墳 じょうえんかほうふん			四角形の方墳の上に円墳を載せた構造。確認されたのは、全国で4基のみ。古墳時代後期7～8世紀につくられた。	府中彫野科野古墳 石の力太古墳
四隅突出墳 よすみとつしゅつふん			弥生時代から古墳時代の過渡期方墳で四角が突出した特徴的な形。西日本の日本海側に多く見られる。	西谷3号墳

②10大古墳

	墳丘長さ(m)	古墓名	陵墓名	時期	所在地	備考
1	486	大仙古墳	仁徳天皇	5M	堺市	百舌鳥古墳群
2	425	誉田御廟山	応神天皇	5B	羽曳野市	古市古墳群
3	365	石津ミナサイ	履中天皇	5B	堺市	百舌鳥古墳群
4	360	造山古墳		5B	岡山市	岡山県吉備政権
5	335	河内大塚山		6E	松原市	古市古墳群
6	318	見瀬丸山	欽明天皇	6E	橿原市	堅塩媛陵
7	302	行燈山古墳	景行天皇	4E	天理市	柳本古墳群
8	288	土師ニサンサイ		5E	堺市	百舌鳥古墳群
9	286	仲津山古墳		5B	藤井寺市	古市古墳群
10	276	作山古墳		5M	総社市	岡山県吉備政権
11	276	箸墓古墳	百襲媛命	3M	桜井市	卑弥呼? 纏向古墳群

③九州の大規模古墳(前方後円墳)

国	古墳名	所在地	全長	時期	濠	埴輪
日向	女狭穂塚	西都市	176m	中期	○	◎
日向	男狭穂塚	西都市	167m	中期	○	
日向	生目3号	宮崎市	143m	中期	○	
大隅	唐仁大塚	肝属郡串良町	140m	後期	○	
筑後	岩戸山	八女市	138m	後期	○	◎
日向	横瀬	肝属郡串良町	134m	中期	○	◎
日向	生目1号	宮崎市	130m	中期		
日向	持田1号	児湯郡高鍋町	120m	中期		
筑後	石人山	八女郡広川町	120m	後期	○	◎
肥後	松坂	五名郡菊水町	120m	中期		
豊後	亀塚	大分市	120m	中期		◎
豊後	小籠山	杵築市	120m	中期		○